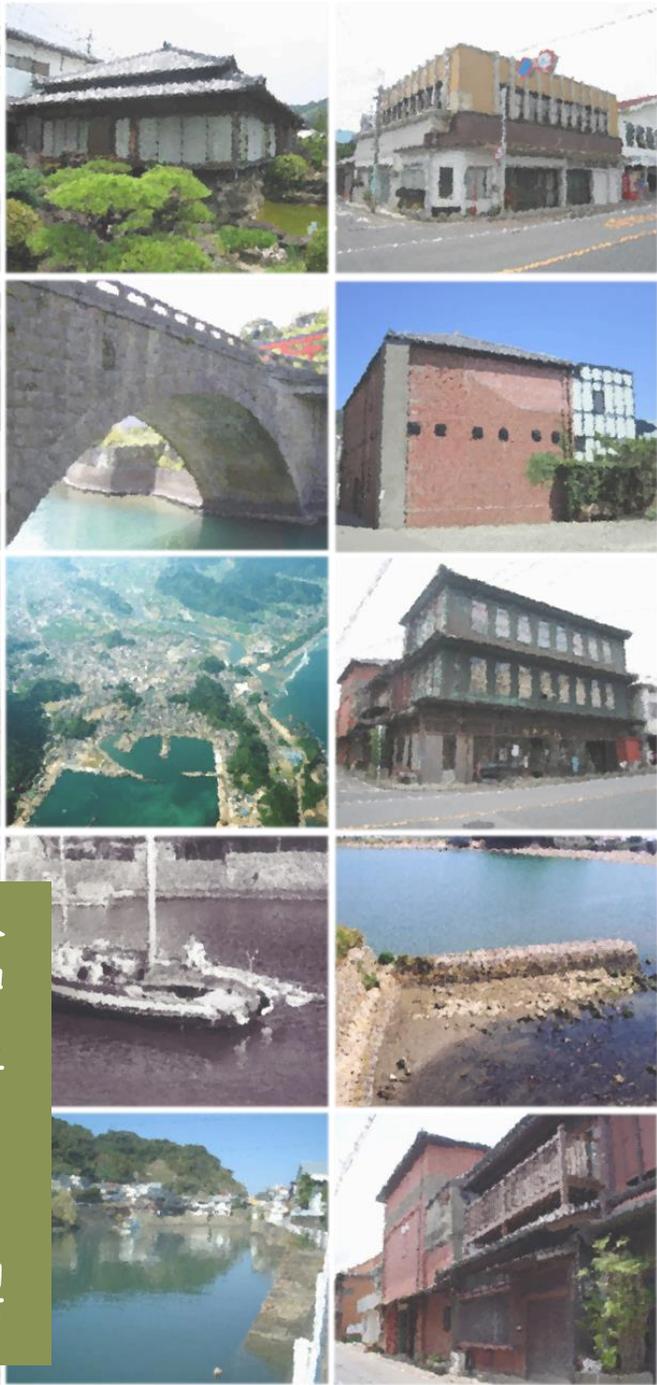


油津の歴史文化遺産を活用したまちづくり計画

概要版

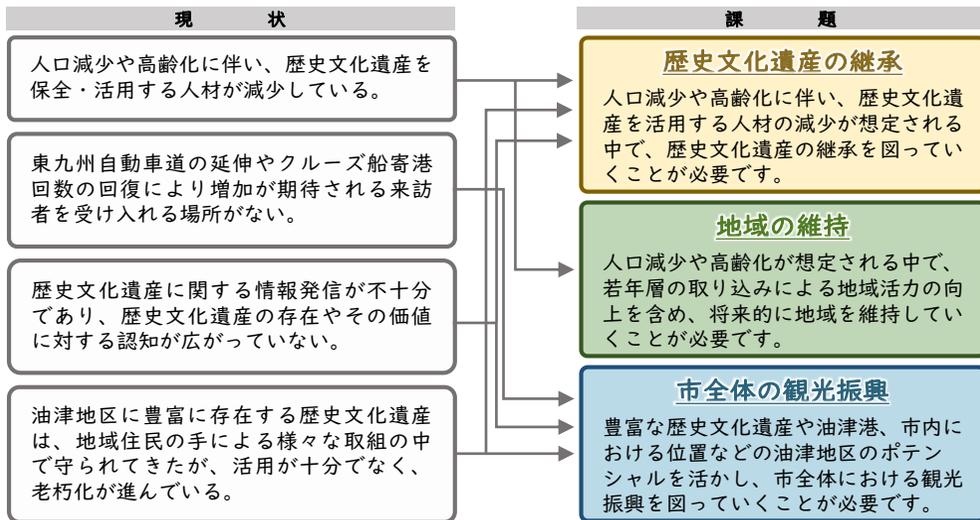
令和6年3月 日南市



計画策定の目的、背景

日南市油津文化遺産振興戸村基金の目的や東九州自動車道の開通、大型クルーズ船寄港などの新たな需要を踏まえ、今回、本市では、油津地区の歴史文化遺産を地域振興・観光等に有効活用することにより、歴史文化の伝承及び地域の賑わい創出を図り、本市の課題である人口減少対策を講じるため、「油津の歴史文化遺産を活用したまちづくり計画（以下、「計画」という）」を策定することとしました。

現状と課題



目標と方向性

前段で整理したとおり、「歴史文化遺産の継承」、「地域の維持」、「市全体の観光振興」の3つの課題が浮き彫りとなっています。

今回、歴史文化遺産を活用したまちづくりを進めるにあたり、本計画が担う目標を明確にすることで、これらの課題に対応するための事業の方向性を定めます。

目 標

歴史文化遺産の活用により魅力あるまちを形成し、新たな人の流れを取り込むことで、交流人口や関係人口の増加を目指す

交流人口や関係人口の増加を目指すための、様々な事業を効果的かつ効率的に展開するためには、事業の方向性であるコンセプト（概念）を定めることが大切です。

今回、歴史文化遺産の活用にあたっては、新たな空間づくりや魅力づくりに加え、多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなるまち」の創出が、交流人口や関係人口の増加に有効だと考えます。

コンセプト

堀川運河周辺の歴史・文化を感じ、居心地のよい歩きたくなるまち

事業展開の柱

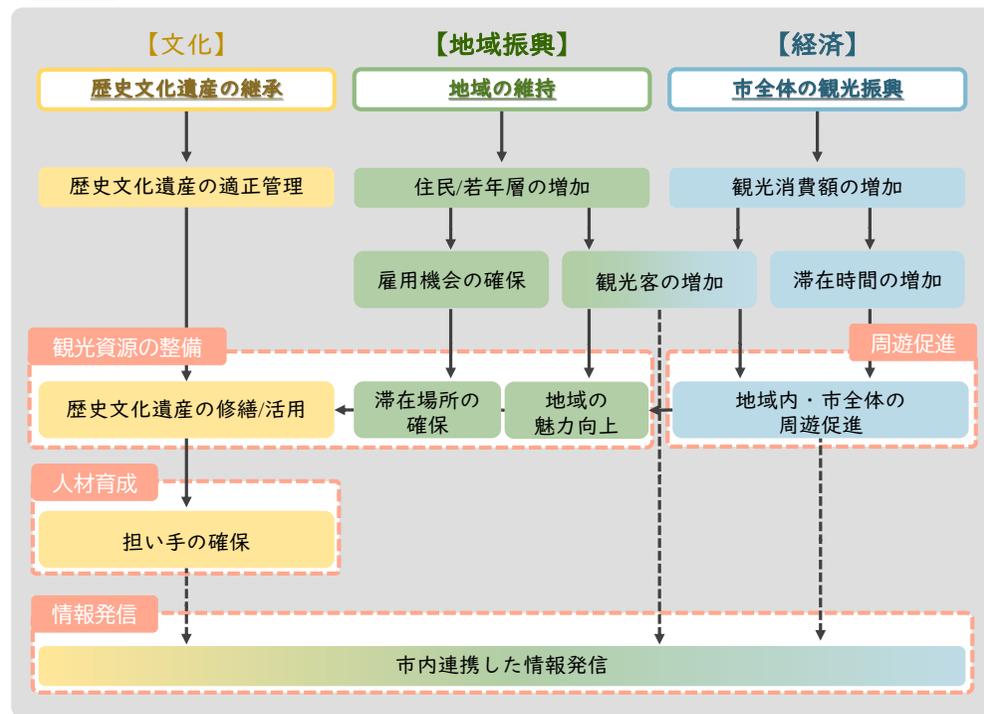
目標の明確化やコンセプトの設定をしましたので、次は、どのような事業を展開するのか整理が必要です。

事業展開の柱については、3つの課題の解決に必要な事項から抽出します。

油津地区においては、地域の風景の一部を構成してきた建築物等の歴史的資産が存在し、これらを活用することで、まちづくりにおける深みと物語性が増していきます。

また、人口減少に伴い、空き家等が多く発生していますが、これらに適切に手を加えて未永く活用していくことは、既存ストックの有効活用及び賑わい創出の点から有効です。

このような状況を踏まえ、「観光資源の整備」、「周遊促進」、「情報発信」、「人材育成」の4つを軸に事業を展開していきます。



目標値の設定

目標項目	地域資源の活用した観光地の形成 (市民アンケート)	堀川運河周辺の通行量	市民主体イベントの参加者数
事業との関連性	「観光資源の整備」 「情報発信」	「周遊促進」 「情報発信」	「人材育成」
計画前数値 (R5年度)	満足・やや満足 19.5%	700人/日	1,050人
目標数値 (R10年度)	満足・やや満足 40.0%	1,000人/日	2,000人

事業内容

事業計画	令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）の5年計画
総事業費	当初計画は約15億円の見込み
財源	日南市油津文化振興戸村基金をはじめ、国庫補助等の有利な財源を活用

1 観光資源の整備

歴史文化遺産を活用し、観光案内機能や休憩機能等を導入するなど、観光客の誘致に向けた観光資源の整備を行います。

3 情報発信

地域における歴史や文化等に関する情報発信を行い、豊富な有形文化財等の歴史・背景を踏まえた学習の機会を醸成します。

2 周遊促進

堀川運河を軸とした周遊ルートの整備・周知や水辺を活用した体験メニューの創設、案内サインの整備や観光PR等により、油津地区内外における周遊を促進します。

4 人材育成

市民自らが地域活性化について考える機運を高めるとともに、油津地区のまちづくりに関わる人材育成を行います。



【市民協働によるまちづくり等】

- ・市民団体の活動支援
- ・市民フォーラムの開催
- ・（仮称）油津まちづくり検討委員会の設置
- ・担い手の育成
- ・エリア全体へ波及効果のある取組

【空き家活用事業】

- ・既存施設活用状況調査（事業スキーム検討）
- ・利活用検討会設置

【水辺利活用事業】

- ・花峯橋の復原整備
- ・花峯橋を活用したイベント企画等
- ・整備検討委員会の設置
- ・保存活用計画の策定
- ・体験型観光メニューの創設
- ・水辺を活用した周遊戦略
- ・専門家によるコーディネート業務

【ガイドンスセンター整備】

- ・油津別館の有効活用
- ・交流・飲食スペース整備
- ・歴史資料等の収集・製作、展示
- ・情報発信

【河野宗泰家活用事業】

- ・赤レンガ館との連携
- ・まちなかハブの整備
- ・休憩スペースの整備



● 登録有形文化財
● その他主な資源

事業内容一覧

事業名	具体的取組	事業の方針	概要	柱となる4つの事業展開				実施時期		
				観光資源の整備	周遊促進	情報発信	人材育成	初期(R6-7)	中期(R8-9)	後期(R10-)
ガイダンスセンター整備事業	ガイダンスセンター整備事業	既存の油津別館をガイダンスセンターとして整備し、歴史文化の伝承や地域の特産品等の情報を発信する拠点とし、「まちの周遊」及び「まちなか滞留」を促します。	■油津別館の有効活用 ・油津別館を歴史や地域の魅力を発信するガイダンスセンターとして改修を行います。 ■ガイダンスセンター整備 ・Wi-Fiをはじめとするデジタルデバイスを活用し来訪者の滞留を促進します。 ■交流・飲食スペース整備 ・飲食スペースを設置し、市民や来訪者が交流できるスペースを設置します。	○	○			■		
	歴史文化周知伝承事業		■歴史資料等の収集・製作・展示 ・堀川運河、飫肥杉等に関する資料を展示し、子どもや来訪者が学べるようにします。		○	○		■		
	観光PR事業		■ホームページ、パンフレットの作成 ・歴史文化遺産を活用したまちの周遊を促進します。 ■情報発信 ・市全体への周遊を促進するため、観光情報を発信します。		○	○		■	■	■
水辺利活用事業	花峯橋再生事業	国の登録有形文化財・花峯橋の再生をするとともに堀川運河が持つ水辺の特性を活かした体験型観光のメニューを創設し、観光客等の集客を図ります。 また、市民の郷土愛の醸成を図り、自らが堀川運河をはじめとする文化財を守る仕組みを構築します。 水辺を活用した周遊を促すための戦略として周遊ルートの構築及び案内サイン等のハード整備を行います。 更に、油津地区のみならず市内全体への周遊を促進するための事業を実施します。	■花峯橋の復原整備 ・国の登録有形文化財の価値を保存した復原整備を行います。 ■花峯橋を活用したイベント企画等 ・花峯橋の構造を学んだり堀川運河周辺を巡るツアー等のイベントを企画します。 ・堀川運河を中心とした周遊ルートを設定します。 ■整備検討委員会の設置 ・整備検討委員会を設置し、整備手法等について検討します。	○				■	■	■
	体験型観光メニューの創設		■体験型観光メニューの創設 ・水辺を活用した体験型観光メニューを創設し堀川運河周辺の周遊及び滞留を促進します。		○			■	■	■
	専門家派遣		■専門家によるコーディネート業務 ・堀川運河周辺の歴史文化遺産を活用したまちづくりを円滑に進めるため、コーディネート業務を専門家に委託します。	○	○	○	○	■	■	■
	周遊促進事業		■水辺を活用した周遊戦略 ・周遊ルートや案内サインの整備、観光PRを実施し、油津地区内外における誘客を図る戦略を構築します。		○	○		■	■	■

事業名	具体的取組	事業の方針	概要	柱となる4つの事業展開				実施時期		
				観光資源の整備	周遊促進	情報発信	人材育成	初期(R6-7)	中期(R8-9)	後期(R10-)
河野宗泰家活用事業	河野宗泰家主屋整備事業	<p>国登録文化財である河野家宗泰家を改修し、観光客や地域住民などが交流、滞在できるスペースとして整備します。</p> <p>また、河野家の庭園を緑地化し、回遊時の休憩や飲食が可能なスペースとして活用します。</p> <p>更に、隣接する赤レンガ館に人が集まる飲食店等を検討し、必要な改修を施します。</p>	<p>■まちなかハブの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客や地域住民など、多様な人が集い、交流できる場所を整備します。 国の登録有形文化財の歴史的価値を保存し継承していきます。 	○				■	■	
	河野宗泰家庭園整備事業		<p>■休憩スペースの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなか周遊の休憩スペースとして庭園を整備します。 利用者が居心地よく快適な空間を創出します。 		○				■	
	赤レンガ館整備事業		<p>■赤レンガ館との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 人が集まり、居心地のいい空間を創出するため、赤レンガ館への飲食店等への整備を検討します。 	○	○			■	■	
空き家活用事業	空き家活用事業(文化財・古民家)	<p>地区内の文化財や古民家の活用については、民間主導に体制を構築し、企業等の誘致・雇用の促進に繋がる事業とします。</p>	<p>■既存施設活用状況調査(事業スキーム検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間投資による既存施設の再生を進めるにあたり、資金の確保や継続して運営できる民間主導の体制づくりの検討を行います。 既存施設活用を促進するための財政支援を検討します。 <p>■活用検討会設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設の利活用方針の検討を行います。 	○	○			■	■	■
市民協働によるまちづくり検討	市民活動支援事業	<p>地域住民が観光客等を受け入れるための支援を行い、市民自らが地域活性化について考える機運を高めます。</p> <p>そのため、本事業の遂行にあたっては、地域住民で構成する検討会を設置し、官民一体になって取り組んでいきます。</p>	<p>■市民団体の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 日南市内では、イベント等を通じて市内外からの誘客に努める市民団体の活動を支援する事業を行います。 <p>■市民フォーラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動等の事例を発表するなどの市民フォーラムを開催し、地域全体でまちづくりの機運を高めていきます。 		○		○	■	■	■
	まちづくり検討会の設置		<p>■(仮称)油津まちづくり検討会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民をはじめ関係者を委員とした(仮称)油津まちづくり検討会を設置し、事業に対する進捗の共有及び提言等を行いながら、官民一体となって事業を進めていきます。 			○	○	■	■	■
油津地区全体の資源の活用	エリア全体へ波及効果のある取組	<p>歴史遺産の活用に限らず、近隣の港や商店街の資源を活用した幅広い取組を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の活用に限らず、近隣の港や商店街の資源を活用した幅広い取組を実施します。 		○	○		■	■	■

ガイドンセンター整備事業

(事業費概算 470,000千円)

① 事業概要

日南市役所油津別館を活用して、地域の歴史や文化、伝統を紹介する機能を有するとともに、地域住民と観光客が交流できる機能を持ち、まちの周遊の拠点となるガイドンセンターを整備します。
また、周遊促進や地域の魅力発信のためホームページの開設やパンフレットの作成を行います。

② 期待される主な効果

- ・油津地区の歴史文化の伝承
- ・来訪者や市民が油津地区の歴史文化遺産を学ぶ場
- ・油津地区の歴史文化遺産に関する周遊を促進する場
- ・地域住民と来訪者との交流の場
- ・誰でも自由に利用でき、くつろげる場

③ 具体的取組内容

【ガイドンセンター整備事業】

- 油津別館の有効活用
- 交流・飲食スペース整備
- Wi-Fiなどデジタルデバイスの整備

【歴史文化周知伝承事業】

- 歴史資料等の収集・製作、展示

【観光PR事業】

- ホームページ、パンフレットの作成
- 情報発信



油津別館



イメージパース図



水辺利活用事業

(事業費概算 735,000千円)

① 事業概要

歴史的価値の高い木橋である花峯橋を復元整備し、新たな文化的価値の創造・発信を図るとともに、堀川運河の歴史の継承や周遊ルートの設定、体験型観光メニューの創設及び滞在環境の向上などにより、地域の賑わいの創出を図ります。

② 期待される主な効果

- ・復元整備に関与し郷土愛の醸成や地域コミュニティを形成
- ・橋を活用したイベント等による、集いの場を創出
- ・来訪者の滞在環境を向上
- ・堀川運河や歴史資源、水辺空間を含めた面的な魅力の向上
- ・油津地区の歴史文化遺産に関する観光の促進
- ・滞在時間の延伸による地域活力の向上
- ・油津地区内外における周遊の促進

③ 具体的取組内容

【花峯橋再生事業】

- 花峯橋の復元整備
- 花峯橋を活用したイベント企画等

【体験型観光メニューの創設】

- 水辺を活用した体験型観光メニューを創設

【専門家派遣】

- まちづくりを円滑に進めるため、事業全体のコーディネート業務

【周遊促進事業】

- 水辺を活用した周遊戦略
- 周遊ルートや案内サインの整備、チョロ船体験の実施等



花峯橋



復元イメージ



河野宗泰家活用事業

(事業費概算 170,000千円)

① 事業概要

国の登録有形文化財である河野宗泰家を改修し、観光客や地域住民など、多様な人々が交流、滞在できる「まちなかハブ」として整備します。あわせて、庭園の緑地化等を行い、回遊時の休憩や飲食が可能なスペースとします。

また、隣接する赤レンガ館と連携した集客を図るため、赤レンガ館における飲食店等の導入について検討し、必要な改修を行います。

② 期待される主な効果

- ・歴史文化遺産（河野宗泰家）の継承
- ・地域住民と観光客等の交流の促進
- ・歴史的な街並みの景観向上
- ・来訪者の滞在環境の向上

③ 具体的取組内容

【河野宗泰家主屋整備事業】

- まちなかハブの整備

【河野宗泰家庭園整備事業】

- 休憩スペースの整備

【赤レンガ館整備事業】

- 赤レンガ館との連携

まちなかハブとは…

利用目的や利用者を特定せず、誰もが休憩、交流、自習、情報発信、テレワーク、まちづくり活動等の多様な用途に活用できる施設



河野宗泰家



イメージパース図



まちなかハブイメージ

赤レンガ館

空き家活用事業

(事業費概算 50,000千円)

① 事業概要

油津地区内の文化財や古民家の活用について、民間主導による体制を構築し、企業等の誘致・雇用の促進に繋がる取組を推進します。

② 期待される主な効果

- ・歴史文化遺産の継承
- ・文化財を活用した地域の賑わい創出
- ・まちの魅力向上や歴史的な街並みの景観向上による周遊促進
- ・来訪者の滞在環境の向上
- ・民間事業者の進出による雇用の促進

③ 具体的取組内容

【空き家（文化財・古民家）活用事業】

- 既存施設利活用状況調査（事業スキーム検討）
- 利活用検討会設置



利活用イメージ

市民協働によるまちづくり検討

(事業費概算 12,000千円)

コンセプトである「堀川運河とその周辺の歴史・文化を感じ、居心地のよい歩きたくなるまち」の実現に向けては、官民一体となって交流・滞在空間を創出することが大切です。

更に、住民意向や民間のまちづくりに関する活用等を踏まえ、地域の特性を活かした創意工夫のある事業の推進も必要です。

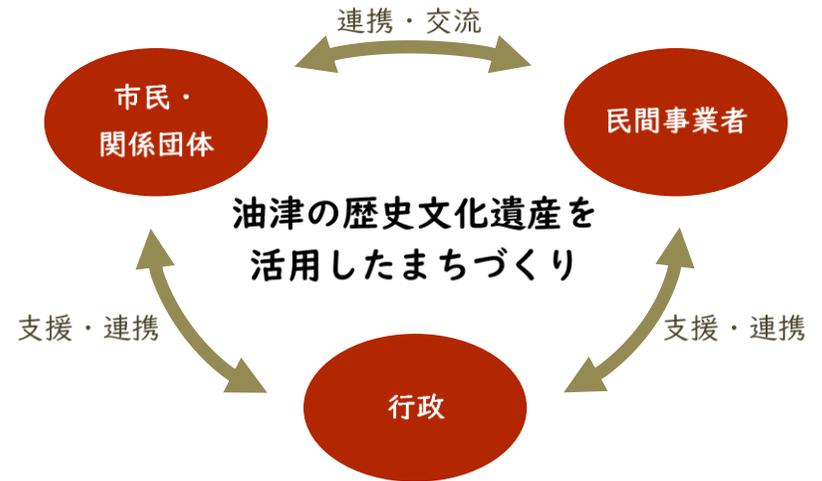
このようなことから、市民協働による事業の推進を図る取組を実施します。

スケジュール (案)

	事業名	事業項目	R6	R7	R8	R9	R10
1	ガイダンスセンター整備事業	実施設計	→				
		改修工事		→			
		資料・備品等展示	→	→			
		観光PR	→				
		HPの開設・パンフレット作成等		→	→	→	→
	運営者選定	→	→				
2	水辺利活用事業	解体工事、地盤・部材調査等	→				
		実施設計		→			
		復原工事			→		
		保存活用計画策定				→	
		有識者会議の設置	→	→	→	→	→
	体験創出等	体験メニュー検討、創設	→	→	→	→	→
		事前調査（水質検査）	→				
	専門家派遣	コーディネーター委託	→	→	→	→	→
		周遊促進検討	→	→	→	→	→
		工事（案内サイン等）					→
3	河野宗泰家整備事業	施設耐震・劣化調査、利活用検討	→				
		設計業務			→		
		改修工事				→	
		保存活用計画策定					→
	庭園の整備	設計業務			→		
		改修工事				→	
	赤レンガ館の活用	利活用の検討	→	→		→	→
4	空き家活用事業	運営体制検討会の設置	→	→	→	→	→
		運営体制の構築委託		→	→		
		市補助金の検討・交付				→	→
5	市民活動支援事業	補助金交付要綱の作成	→				
		補助金交付		→	→	→	→
	まちづくり検討会の実施	定例検討会	→	→	→	→	→
		市民フォーラムの開催		→		→	

計画の推進体制

歴史文化遺産の活用による魅力ある観光地の形成や、交流人口や関係人口の増加を実現するためには、行政だけでなく、市民や関係団体、民間事業者等との協働が重要となります。このため、市の関係各課をはじめ、市民や関係団体、民間事業者等の多様な主体による推進体制を構築し、事業等の進行管理や評価等による計画の着実な推進を図ります。



■ 行政

- 行政は、まちづくりの推進にあたり、広域的な視点から関係各課との連携・調整を図りながら、総合的かつ計画的に取組を展開していくことが求められます。
- 更に、まちづくりに関わる情報発信や仕組みづくり、市民等による活動の支援等、協働のまちづくりを推進していくことが求められます。

■ 市民・関係団体

- 市民はまちづくりの主役であり、主体的に取り組んでいくことが求められます。
- 行政サービスの受け手であると同時に、環境美化などの生活に関わる地域レベルのまちづくりにおいて、市民自らが考え、積極的に参加していくことが望まれます。

■ 民間事業者

- 民間事業者が持続的な経営と利潤確保を可能とするためには、社会や地域への貢献が重要であることから、まちづくりの担い手の一員としての役割が求められます。
- まちづくりを担う主体の一員として、事業を通じた地域経済の活性化への積極的な貢献・協力が期待されています。

油津の歴史文化遺産を活用したまちづくり計画
《概要版》

日南市教育委員会事務局生涯学習課文化財係
〒887-8585

宮崎県日南市中央通一丁目1番地1

電話番号：0987-31-1145

FAX：0987-24-0987

電子メール：bunka@city.nichinan.lg.jp